

災禍における政治と専門知

田中重人
(東北大学文学研究科
現代日文学専攻分野)

今日のテーマ

- 専門知** : 科学 (文献) + 暗黙知
政治 : 異なる利害関心の調整と意思決定
災禍 : 不確実性 (risk) + 緊急性

類似の事柄を考えてみる

- 病気への対応**
- 不確実な事柄について早い意思決定
 - 専門知を利用
 - 利害の調整は不要

Evidence-based medicine (EBM)

1990年代以降に普及した、
現代医療の標準的な意思決定様式

D. L. Sackett ほか (1999) 『根拠に基づく医療:
EBMの実践と教育の方法』 オースリーシー・ジャパン.

エビデンスとは

- evidence**
- 医療上の意思決定のための根拠
 - 文献の網羅的な探索と批判的吟味による

EBMによる意思決定の3要素

- エビデンス
- 医師の暗黙知
- 患者の価値観

エビデンスを重視することの意義

- 捏造・改竄の抑止
- 多数の専門家による批判・淘汰を経た知識
- 患者による検証

Evidence-based policy making

- EBPM**
- 「エビデンス」は政府が作るもの
 - 文献レビューは必須でない
- 総務省 (2018) 「EBPM (エビデンスに基づく政策立案) に関する有識者との意見交換会報告 (議論の整理と課題等)」 (平成30年10月).
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/ebpm_opinions/

文献が使えない理由 (医学 vs. 社会科学)

- 政治的関心と学問的関心のずれ
- 社会現象の変異の大きさ

政府がエビデンスを作ることの問題

- 批判と淘汰が働きにくい
- 捏造・改竄への対処

文部科学省ガイドライン

研究成果の発表とは、研究活動によって得られた成果を、客観的で検証可能なデータ・資料を提示しつつ、**科学コミュニティに向かって公開**し、その内容について吟味・批判を受けること (p. 4)

本節で対象とする不正行為は、故意又は研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を著しく怠ったことによる、投稿論文など **発表された研究成果の中に示された** データや調査結果等の捏造、改ざん及び盗用である (p. 10)

文部科学省 (2014) 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」 (平成26年8月26日文部科学大臣決定) https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/1351568.htm

誰が意思決定するのか?

- 国会議員 (713名)
 - 官僚・大臣
 - 有権者
 - 政策対象 (受益/受苦)
- **事実認識の違い + 利害対立 + 価値判断**

リスクに関するコミュニケーション問題

リスクガバナンスのすべてのプロセスで、
ステークホルダー (関与者) のコミュニケーションが重要 (p. 17)

文部科学省 (2017) 「リスクコミュニケーション案内」
https://www.mext.go.jp/a_menu/suishin/detail/1397354.htm

政治における専門知利用の問題

- 知識の信頼性が低い
- 関係者間の認識の食い違い

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 禍

- 時間的余裕**
→ 災禍ではあるが、平時に近い
- 世界的規模**
→ 他国との比較

日本のCOVID-19対応 (第3波まで)

2020年 1/28 指定感染症に指定
3/13 新型インフルエンザ等対策特別措置法改正
4/7 緊急事態宣言
5/14 緊急事態宣言一部解除
5/25 緊急事態宣言終了 (ここまで第1波)
6月後半 感染再拡大 (第2波)
9月 感染減少
11月 感染再拡大 (第3波)
2021年 1/7 4都県に緊急事態宣言

政府組織と専門家の助言・諮問

2020年 1/30 対策本部

2/7 厚生労働省AB (7月まで休眠)

2/14 専門家会議 (7/3廃止)

2/25 クラスタ対策班

3/26 新型インフルエンザ等対策有識者会議、
基本的対処方針等諮問委員会

7/3 新型コロナウイルス感染症対策分科会

「日本モデル」とは

世界各国で、「ロックダウン」が講じられる中、**市民の行動変容とクラスターの早期発見・早期対応に力点を置いた日本の取組**（「日本モデル」）に世界の注目が集まっている (p. 11)

専門家会議 (2020-04-01) 「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」 <<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000617992.pdf>>

背景

他国との比較

- 欧米のロックダウン
- アジアの追跡調査
- 大規模検査

→ 日本の対策の「緩さ」への批判

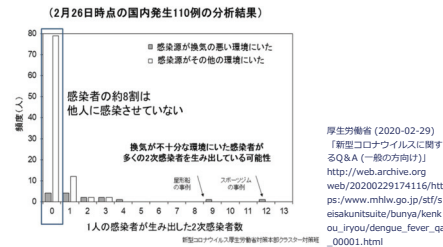
日本モデルの前提

COVID-19は、**ひとりから多数への感染 (superspreading) で広がる**

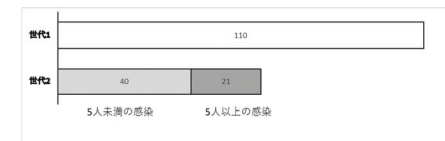
- Superspreading は「密閉」「密集」「密接」の3条件がそろった場所 (3密)でのみ起きる
→ 3密回避で防げる
- Superspreading は**後向き探索**で発見できる
→ 発見して隔離 (保健所によるクラスター対策)

「日本モデル」にエビデンスはあったか?

COVID-19はsuperspreadingで広がる?



データの見方を変えると……



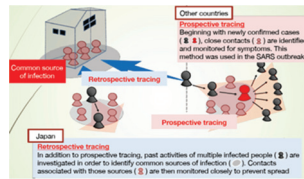
Superspreading は3密環境でのみ起きる?

これまで集団感染が確認された場に共通するのは、①換気の悪い密閉空間であった、②多くの人が密集していた、③近距離 (互いに手を伸ばしたら届く距離) での会話や発声が行われたという **3つの条件が同時に重なった場**です。(p. 4)

専門家会議 (2020-03-09) 「新型コロナウイルス感染症対策の見解」
<<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000606000.pdf>>

→ エビデンスなし

Superspreadingは後向き探索で発見できる?



Omori Shigeru, Oshitani Hitoshi (2020) "Japan's COVID-19 Response"
<<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000635881.pdf>>

→ エビデンスなし

「3密」批判と定義変更

「3密」に対する疑問

「密閉・密集・密接が重なった所は感染の危険が高いから避けるように」とのメッセージが誤解を招いているのではないのでしょうか?……
3つは「重なる」必要はありません。一つでも十分、危険です。

黒岩祐治 (2020-03-28) 「「重なる」でなくとも」『神奈川県知事 黒岩祐治 Official Website』<<https://kuroiwa.com/blog/post-20200328/>>

基本的対処方針等諮問会議 (4月7日)

3密でなくても〔クラスターが〕起こり得る場合があります。……接客を伴う飲食店……は必ずしも3密が全部そろっていない環境だと思います。人がたくさんいない、けれども1人の人が不特定多数の人とこういう接触をするという形なのです。歌を歌うとかも、必ずしも3密がそろっていない環境でも起きています。無観客のライブハウスでも起きています。……もう少し**表現の仕方**を考へべきかと思います。(p. 12)

基本的対処方針等諮問委員会 2020年4月7日議事録
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/fu/shimon2_2.pdf> 押合に発言

基本的対処方針等諮問会議 (4月7日)

基本的対処方針案の変更

対策本部の理解

「3密」定義変更に関する報道

商店街に人が多かったり、あるいは公園に若者も集まったり、確かにオープンな空間ですから、〔3条件が〕重なっていないということなのでしょうけれども、しかし、すごく近い距離で飲食を共にし、また会話をしておりますので、そういう意味では、もう**3密それぞれを避けて頂きたい**。(p. 18)

基本的対処方針等諮問委員会 2020年4月7日議事録 西村康稔発言

3つの条件 (以下「三つの密」という。) **が同時に重なる場**では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられる。



3つの条件 (以下「三つの密」という。) **のある場**では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられる。

これまで実施してきた対策は間違っていない。(尾身茂・諮問委員会会長)

密閉、密集、密接の3つの密を防ぐことなどによって、感染拡大を防止していく、という対応に変わりはありません。(安倍晋三・対策本部長)

新型コロナウイルス感染症対策本部 第27回 (2020年4月7日) 議事概要
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryou/gaiyou_r020407.pdf>

当初は、三つの密の「重なりを避ける」とされたが、後に一つでも「密」があれば避けると変更された。きっかけは、黒岩祐治・神奈川県知事が感じた疑問だった。……4月7日、政府の基本的対処方針に意見を出す諮問委員会で変更を求めた。

読売新聞 (2020-07-30) 「検証コロナ 次への備え 第4回: もの言う専門家会議の功罪」

